

末長範彦代表、末長一範代表

2021年

年頭所感

新年おめでとうございます。

Jan a Vol. 03 発刊、

昨年は第一次世界コロナウイルス戦が勃発、終戦の目処が立っていない中、日本は世界的には善戦しています。しかし、予断は禁物です。今年のダボス会議のテーマは「グレートリセット」です。その中でSUENAGA Groupは、国内同業者の中では各社とも素晴らしい戦い、実績を昨年は残しており、今後のグループの発展に繋げていく大変重要な年がスタートしました。

本年が、5年、10年後にSUENAGA Groupが「たし算」ではなく、「かけ算」のリセットになるよう、「Challenge and Change」に向けて共に行動して、皆さんとお客様にとってより素晴らしい年にしようではありませんか。

代表 末長 範彦

末長範彦代表と末長一範代表の2021年の想いをお伺いしました。

おめでとうございます。

あけまして

昨年は新型コロナウイルスの流行が発端となり、業務運営に大変なご苦労を掛けましたが、皆さんの多大なる協力を得ることができ、無事に新しい年を迎えることができました。この場をお借りして、皆さんにお礼申し上げます。さて、SUENAGA Groupを表明し、半年が経過しました。グループ意識に対しての感度は、高まってきたでしょうか？2021年は、グループ連携を加速させ、SUENAGA Groupをより実感できる年にしたいと思います。横断的な人財交流を行い、グループナレッジの共有を推し進めたいと考えています。人財交流は、皆さんご自身がその主役になる可能性があります。ご期待ください(笑)。

世の中の常識が速いスピードで変化していく現在。その変化に柔軟に対応するためにも、これまでの実績や価値観にとらわれず、多様な価値観を認め合っていたいただきたい。新たな自分を発見し、変わることに挑戦する姿勢を応援します。自己改革に時間と情熱を注ぎ、それを楽しむ文化を皆さんと育てたいと思います。グループ1,600名が一つになり、地域の皆様の身近な存在になれるように、共に歩んでまいりましょう。

新しい年が、皆さんにとって素晴らしい年となることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

代表 末長 一範